

情報連絡員総括表（2020年1月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2020年1月のDI値は、前月との比較において「在庫数量」が改善、「雇用人員」が横ばい、それ以外の7指標において悪化する結果となった。

また主要三指標についてはそれぞれDI値がマイナス50.0以上となっている。新型コロナウイルスやイラン司令官殺害、イギリスのEU脱退などの影響について危惧する声が多い。

○「製造業」では、前月との比較において、「販売価格」が改善、「雇用人員」が横ばい、それ以外の7指標が悪化する結果となった。

幅広い業種で、原材料費の値上がりや売り上げのダウン等、景況悪化のコメントが多い。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」が改善、「雇用人員」が横ばい、それ以外の6指標が悪化する結果となった。

小売業では、消費増税の影響で売上の減少、また建設業では人手不足、後継者不足が深刻化しているとのコメントが寄せられている。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年1月	-51.7	-11.6	-6.7	-15.0	-55.0	-21.6	-40.0	-25.0	-50.0
2019年12月	-36.7	-9.3	-5.0	-8.4	-35.0	-11.7	-30.0	-25.0	-41.6
増減	-15.0 ↓	-2.3 ↑	-1.7 ↓	-6.6 ↓	-20.0 ↓	-9.9 ↓	-10.0 ↓	0.0 -	-8.4 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2020年1月	-60.0	-13.3 ポイント	↓	-43.4	-16.7 ポイント	↓	-51.7	-15.0 ポイント	↓			
	2019年12月	-46.7			-26.7			-36.7					
在庫数量	2020年1月	-10.0	6.7 ポイント	↓	-15.4	-23.1 ポイント	↑	-11.6	-2.3 ポイント	↑			
	2019年12月	-16.7			7.7			-9.3					
販売価格	2020年1月	0.0	3.4 ポイント	↑	-13.3	-6.7 ポイント	↓	-6.7	-1.7 ポイント	↓			
	2019年12月	-3.4			-6.6			-5.0					
取引条件	2020年1月	-3.4	-0.1 ポイント	↓	-26.7	-13.4 ポイント	↓	-15.0	-6.6 ポイント	↓			
	2019年12月	-3.3			-13.3			-8.4					
収益状況	2020年1月	-56.6	-13.2 ポイント	↓	-53.3	-26.7 ポイント	↓	-55.0	-20.0 ポイント	↓			
	2019年12月	-43.4			-26.6			-35.0					
資金繰り	2020年1月	-13.4	-3.4 ポイント	↓	-30.0	-16.6 ポイント	↓	-21.6	-9.9 ポイント	↓			
	2019年12月	-10.0			-13.4			-11.7					
設備操業度	2020年1月	-40.0	-10.0 ポイント	↓	/				-40.0	-10.0 ポイント	↓		
	2019年12月	-30.0			-30.0								
雇用人員	2020年1月	-16.6	0.0 ポイント	-	-33.3	0.0 ポイント	-	-25.0	0.0 ポイント	-			
	2019年12月	-16.6			-33.3			-25.0					
業界の景況	2020年1月	-60.0	-6.7 ポイント	↓	-40.0	-10.0 ポイント	↓	-50.0	-8.4 ポイント	↓			
	2019年12月	-53.3			-30.0			-41.6					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	2	1	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2
	繊維工業	0	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	0	1	0	3
	木材・木製品	1	2	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	2	1	1	0	3
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	窯業・土石製品	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2
	一般機器	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	3	0	0	0	3
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	輸送用機器	1	3	1	1	0	0	0	0	1	3	1	0	1	1	0	0	1	3
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	/		0	1	0	2
	小売業	0	4	1	1	2	2	0	3	0	5	0	4			0	2	0	4
	商店街	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2			0	1	0	2
	サービス業	0	3	/		0	1	0	2	0	4	0	1			0	2	0	2
	建設業	0	2			1	2	0	1	0	3	0	1			0	2	0	1
	運輸業	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0			0	2	0	1

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の水揚げ量が減少、地元水産加工品(干物)の低迷もあり、地元水産業界の将来が懸念される。 ・ 10月の台風19号による被害は復旧を終え日常を取り戻しはしたが、魚価格の高騰や製造用資材の値上がり等、業界を取り巻く環境は厳しさを増している。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 綿織物(ゆかた生地)が依然として低迷している。国内産は価格設定が高く、中国産に8割以上シェアを取られている。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年並みと変わらず取り引きはあったが、今後厳しさは続くと思われる。
木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表的な指標である2019年の住宅着工戸数は、2019年は前年比4%減だった。大手シンクタンクによる2020年の予想着工数は85万戸前後の予想となっている。現在の受注残並びに見積状況から判断して、「2月以降に崖が来る」と危惧する。
パルプ・紙 紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシの販促物が少なく、価格は下限も変化無く安定的に維持されている。緩やかに荷動きは高まってきている。
印刷 同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月は休業日が多いため業績が非常に低迷している。 ・ 中堅企業の倒産や、組合脱退が生じている。 ・ 過剰サービスの是正が急務と感じる。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産高は前年対比マイナスが9ヶ月続いている。 ・ 売上高及び収益状況において受注が急激に減少している企業が見られる。 ・ 設備操業度が低下している企業が見られる。 ・ 自動車部品は、メーカー・車種・地域による当たり外れが大きい。
生産用 機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外で自動車向けを中心とした設備投資が引き続き軟調に推移している。 ・ 新型肺炎の発生により、中国出張を見合わせる組合員があるほか、中国発の部品供給網に懸念を示しており、景気減速感を増長させている。
電気 機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルームエアコンは好調であった昨年と比較して生産が減少し、冷蔵庫は新機種効果により生産増加した。業務用エアコンは学校空調需要がピークを過ぎたこともあり生産は昨年を下回った。
輸送用 機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員企業の前年同月売上高平均値は、本年4月から連続減少が続いている。中国の新型肺炎やイギリスのEU離脱による世界経済へのマイナス影響等危機的な不安要素が計り知れない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産ラインの海外への移転、資材調達における海外との価格競争の激化により、コスト低減がより一層求められてきている。この動きが加速してきており、受注が不安定になってきている。

非製造業

セメント 卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 1月のセメント出荷は大型案件が無く、前年同月比で2.7%減少し、2か月ぶりに前年実績を下回った。今後は災害復旧・防災・減災、国土強靱化対策関連工事に期待している。
機械器具 小売業	<ul style="list-style-type: none"> 消費増税により厳しい状況。キャッシュレス還元事業が実施されているが売上は増えていない。暖冬で冬物商品が動かず市況は厳しい。
鮮魚 小売業	<ul style="list-style-type: none"> 年明けは客数・客単価が著しく減少した。小売業においては特に路面店が厳しい状況であった。
燃料 小売業	<ul style="list-style-type: none"> アメリカのイラン司令官殺害により、一気に中東情勢悪化の機運が高まってしまった。それにより今後の原油価格への影響が懸念される。車両用燃料の他石油製品全般の価格の行方により今後の産業の情勢に大きく影響が出ないことを祈る。
各種商品 小売業	<ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設の開業や消費増税の影響を受け、来客数が減少している。 初売り福袋の売れ方が例年よりペースが遅かった。 年始は帰省客で賑わったが昨年よりは人出が少なかった。また、中旬以降は少し静かだった。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響によりインバウンドがキャンセルを含め大幅に減少している。この状況が続くと、今後国内需要を含め旅行等の出控えによる来遊客減少が懸念される。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足により、需要があっても仕事を受けられない、受けてもこなすことができず業績が悪化し、事業継続が出来なくなる事業所が増えている。 働き方改革関連法を受け、労働環境の改善が進められる事業所と進められない事業所との格差が広がれば、人手不足が要因で倒産する事業所が今後も増えてくると思われる。経営者の高齢化が進み後継者不足が深刻化する状態は何らかの支援の手が必要と思われる。 新型コロナウイルスの感染拡大により、中国に進出している製造業の業績に影響が出てきていることから、国内の設備投資を延期する企業が出始めている。
識別工事業	<ul style="list-style-type: none"> 時節の影響が大きく、躯体工事業者は空きが大きくなっている。受注はそこそこされてきているが工事の着工が遅れている影響で、繁忙のピークは4~6月頃と予想する。大型物件が少なく、人余りの状況は今後しばらく続くと予想する。
道路貨物 運送業	<ul style="list-style-type: none"> 荷物情報は昨年10月以降からの低調が続いている状況。今まで荷物情報を提供してくれていた組合員からの情報が減少しており、自社運送の割合が増加している。求車情報は、前年比約3割減少している。 コロナウイルスが今後どの程度影響するが不安視している。

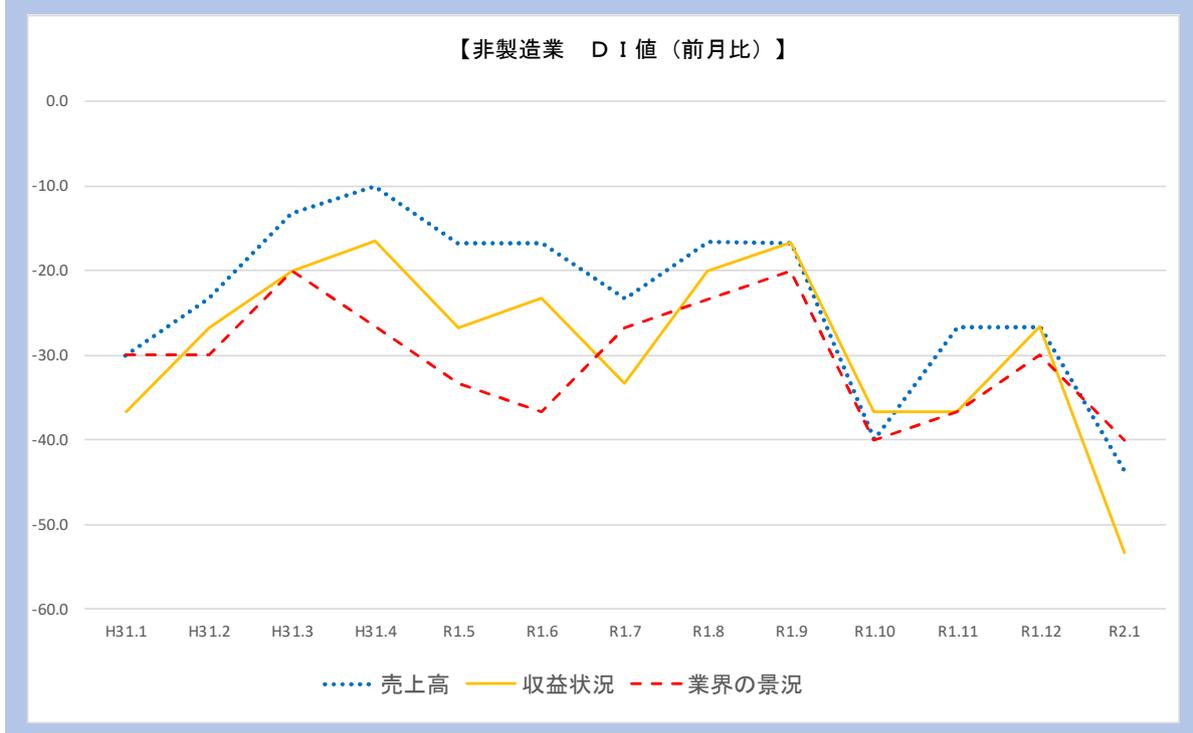
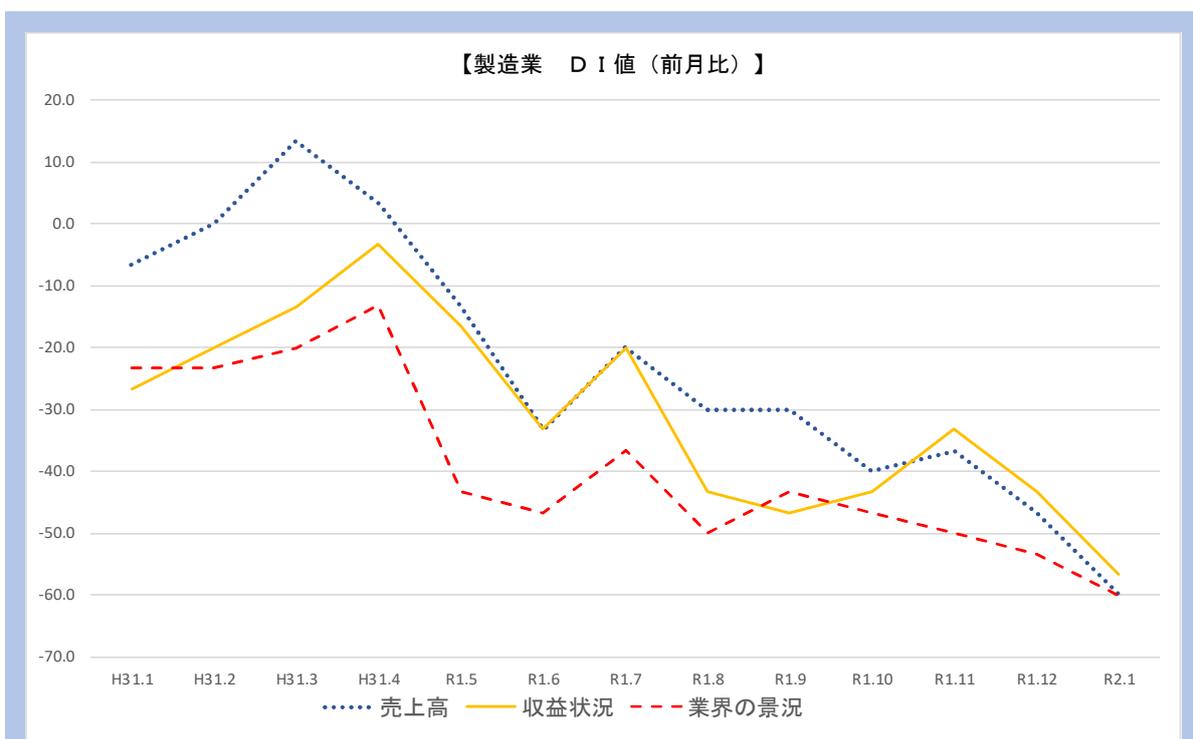
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2019年1月期～2020年1月期までの推移

全体	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
売上高	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7
収益状況	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0
業界の景況	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0

製造業	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
売上高	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0
収益状況	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6
業界の景況	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0

非製造業	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
売上高	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4
収益状況	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3
業界の景況	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0



■2019年1月期～2020年1月期までの推移

売上高	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
製造業	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0
非製造業	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4

収益状況	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
製造業	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6
非製造業	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3

業界の景況	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
製造業	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0
非製造業	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0

